



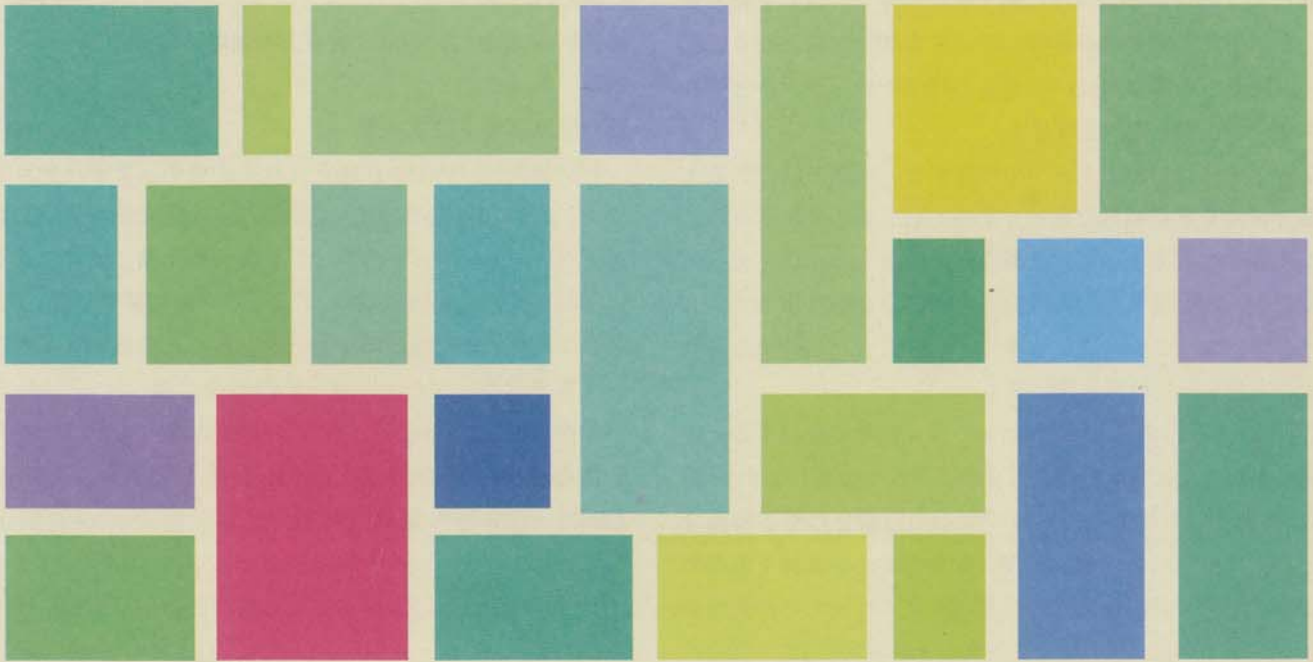
アマチュアオーケストラ

新交響楽団第226回演奏会

The New Symphony Orchestra—226th Concert

指揮：飯守泰次郎

IIMORI Taijiro, conductor



ワーグナー

楽劇「ワルキューレ」よりワルキューレの騎行

Richard WAGNER (1813-1883) : Walkürenritt (Ride of the Valkyries) from "Die Walküre", 1856

楽劇「神々の黄昏」より夜明けとジークフリートのラインへの旅

Richard WAGNER (1813-1883) : Tagesrauen und Siegfrieds Rheinfahrt (Dawn and Siegfried's Rhine Journey) from "Götterdämmerung", 1874

ブルックナー

交響曲第6番イ長調

Anton BRUCKNER (1824-1896) : Symphony No. 6 in A major, 1881

池袋駅西口

2014年7月6日(日)東京芸術劇場コンサートホール 14:00 開演

14:00, Sunday, July 6, 2014, at Tokyo Metropolitan Theatre, Concert Hall (Ikebukuro Station, West Exit) 13:00 開場

入場料 S席：¥3,000 A席：¥2,500 B席：¥1,500 (全席指定)

88 ペアチケット (お二人様で合計 88 歳以上のお客様は合計金額から 1,000 円を割引させていただきます。下記コンサートイメージのみ取り扱い)

チケットのお申し込み・お問い合わせ：コンサートイメージ 03 (3235) 3777 (10:00 ~ 18:00 日曜・祝日を除く)

チケットのお申し込み：チケットぴあ：0570 (02) 9999 <http://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス：0570 (010) 296 (10:00 ~ 19:00 休館日を除く)

(PC) <http://www.geigeki.jp/t/> (携帯) <http://www.geigeki/i/t/>

0570 で始まる電話番号は、一部携帯電話・PHS・IP 電話では受付ができません。

*点字プログラムを若干部用意しております。入口でお渡しいたしますので、お申し付けください。

*おそれいりますが未就学児のご入場はお断りさせていただきます。託児サービスをご利用ください (予約制・詳細は裏面)。

新交響楽団のホームページ <http://www.shinkyo.com/> 演奏会案内や曲目の解説、これまでの活動記録などがご覧いただけます。

Design: IMAO Keisuke

飯守泰次郎指揮によるワーグナーとブルックナー

今回の演奏会は今秋に新国立劇場芸術監督に就任、ますます活躍の幅が広がる飯守泰次郎を指揮に迎えます。新交響楽団と飯守とのつきあいは、1993年4月の第139回演奏会から始まりました。バイロイト音楽祭の音楽助手として長年ワーグナーの音楽と関わってきた飯守との初共演は、ワーグナー楽劇「ローエングリン」第一幕への前奏曲と歌劇「タンホイザー」序曲、そしてブルックナー交響曲第4番でした。以降、新響は飯守の音楽と人間性に魅了され数多くの演奏を積み重ね、それぞれの演奏会が新響にとって大切な宝物となりました。24回目となる今回は、初共演と同じくワーグナーとブルックナーの音楽を取り上げます。

ワーグナーは19世紀ドイツの作曲家で、楽劇と呼ばれる大規模で音楽を重要視したオペラを多く残しました。それらは多くの歌手と大きな仕掛けと時間が必要なため、聴く方も大変ですが、前奏曲などの管弦楽のみの部分を取り出してコンサート用に演奏されることも多く、ワーグナーの音楽を気軽に楽しんでいただけたと思います。

今回は「ニーベルングの指環」という4部作、合計すると16時間もかかる長大なオペラから2曲を選んで演奏します。「指環」は世界征服も可能な力を持つ魔法の指輪をめぐる物語で、ジークフリートは主人公で英雄、ワルキューレは神々の長の9人の娘たちで女騎士、そのうちの1人ブリュンヒルデがジークフリートの恋人です。「ワルキューレの騎行」は、天馬に乗ったワルキューレたちが空を飛んでいる場面の勇壮な曲で、「地獄の黙示録」など数多くの映画やTVで用いられ、ワーグナーで最も有名な曲といっても過言ではないでしょう。「夜明けとジークフリートのラインへの旅」は、ブリュンヒルデと過ごした主人公が永遠の愛を誓い、新たな活躍を求めてライン川に旅立っていく場面の輝かしい曲です。

ブルックナーは19世紀ウィーンの作曲家で、宗教的で荘厳な交響曲を残しました。ブルックナーはワーグナーを崇拜しており、第1回バイロイト音楽祭での「ニーベルングの指環」の初演も聞いています。作曲にも大きな影響を受けており、特に交響曲第3番はワーグナーに献呈しています。また、ワーグナーの死に際し嘆き悲しみ、ワーグナー・チューバ4本による葬送音楽を書いています。

今回演奏する交響曲第6番の作曲中に、ブルックナーはスイス旅行に出かけて大自然を満喫しており、その影響かこの第6番はのびのびとした親しみやすさがあり、ブルックナーの「田園交響曲」とも言われています。もちろんブルックナーらしいリズムや響きを持っていますが、他のブルックナーの交響曲と比べて、長さもほどほどでメロディが多く映画音楽のようで聴きやすいのに、演奏機会が少ないのはとても不思議です。ぜひこの機会にお聴きください。

どうぞお楽しみに！(H.O.)

今後の演奏会予定

<第227回演奏会>

2014年10月26日(日)14時 東京芸術劇場

指揮 矢崎彦太郎

曲目 プロコフィエフ/交響曲第5番 他

<第228回演奏会>

2015年1月25日(日)14時 東京芸術劇場

指揮 山下一史

<第229回演奏会>

2015年4月19日(日)14時 東京芸術劇場

指揮 湯浅卓雄

新交響楽団のプロフィール

新交響楽団は1956年に創立されたアマチュアオーケストラです。音楽監督・故芥川也寸志の指導のもとに旧ソ連演奏旅行、ストラヴィンスキー・バレエ三部作一挙上演、10年におよぶ日本の交響作品展(1976年にサントリー音楽賞を受賞)、ショスタコーヴィチ交響曲第4番日本初演など意欲的な活動を行ってきました。またマーラーの交響曲全曲シリーズ(故山田一雄指揮、1979~90)、ベルリン芸術週間への招聘・邦人作品演奏(故石井眞木指揮、1993)、伊福部昭米寿記念演奏会(2002)、石井眞木遺作「幻影と死」完全版初演(高関健指揮、2004)、ワーグナー「トリスタンとイゾルデ」演奏会形式公演(飯守泰次郎指揮、2006)など、幅広い活動を積極的に展開しています。

維持会のご案内 ~良いお席を安く~

新交響楽団維持会は、新響の演奏活動にご賛同いただき支援して下さる方々の組織です。集まった会費は、楽器購入や演奏企画に活用しています。会費は一口10,000円で、2年間有効の5枚綴りの回数券(どの演奏会でも一度に何枚でも使用可能)を差し上げます。良いS席を優先的に確保いたしますので当日その中からお選びいただけます。お申込みは郵便振替にて直接会費をお振込みください。郵便振替口座：00130-0-28074 「新交響楽団維持会」

団員を募集しています

音楽監督の故芥川也寸志が長年にわたって主張し続けてきた「音楽はみんなのもの」を実践し、常に新しい視点を持って活動していくために、新しい力が必要です。何はともあれ、ぜひ一度練習をご覧ください。見学・オーディション等のお問い合わせはE-mail：shinkyoo@music.nifty.jp
練習は毎週土曜日午後6時~9時、東京芸術劇場(池袋)、クラシック・スペース☆100(大久保)他にて。

演奏会当日の託児サービスのご案内

東京芸術劇場での鑑賞の際には、キッズルームをご利用いただけます。ご利用時間は開演1時間前から終演後30分まで、ご利用料金は~1歳児2,000円、2~6歳児1,000円です。1週間前までにお申込みください。お申込み、お問い合わせ：東京芸術劇場キッズルームミュージズ 電話 03-3981-7003